

第3回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第3回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、「需要サイド（家庭）家庭においてエネルギーの効率的利用を促進するために地方が担うべき役割と具体的な取組み」について研究を行いました。
- 冒頭挨拶において、小川知事から、昨年のような数値目標は設定されていないものの、今年の夏も政府から節電を求められており、県においては率先して節電に取り組むほか、県民や事業者の皆様にも無理のない範囲での節電の取組みをお願いしている。本日は、家庭におけるエネルギーの効率的利用の促進という、まさに喫緊の課題に関して議論をお願いすることとしており、県としてどのような役割を担うべきか、あるいはどのような取組みを行うべきか、委員の積極的な意見・議論をお願いしたい旨の発言がありました。
- 次に、家庭におけるエネルギー問題の第一人者である、株式会社住環境計画研究所の中上英俊会長から、「家庭におけるエネルギーの需要構造と課題」について御講演いただきました。

中上会長からは、家庭用エネルギー消費の推移・国際比較・将来予測を詳細に説明いただくとともに、「無駄の排除」や「省エネルギー意識の重要性」など省エネルギーへの期待、「太陽熱利用」など再生可能エネルギーへの期待を報告いただきました。
- 次に、坂口盛一委員（九州電力(株)）から、「九州電力における長期電力需要想定」について情報提供いただきました。

坂口委員からは、節電の効果も加味した長期電力需要想定に加え、電力需要想定の手法を情報提供いただきました。
- 次に、梅本和秀委員（北九州市）から、「北九州スマートコミュニティ創造事業」について情報提供いただきました。

梅本委員からは、北九州市東田地区で取り組まれている「北九州スマートコミュニティ創造事業」の概要について説明いただくとともに、需要の状況に応じて電気料金を変動させる「ダイナミックプライシング」に関する実証の結果などを報告いただきました。
- 次に、県が取り組む「ふくおか省エネ・県民運動」の事業内容について説明いただくとともに、平成24年度実績についても報告いただきました。
- 最後に、中上会長からの講演、坂口委員・梅本委員からの情報提供などを基に、家庭におけるエネルギーの効率的利用の促進のため、地方がどのような取組みを果たしていくべきか、またどのような取組みを行うべきか、委員間で討議を行いました。

各委員の積極的な意見・助言により、「需要サイド（家庭）においてエネルギーの効率的利用を促進するために地方が担うべき役割と具体的な取組み」が明確になったものと考えておりますので、今後の報告・提言に反映させていきたいと考えております。
- 次回の研究会では、「再生可能エネルギーの普及に向けた地方の役割と普及促進策」について議論を行うこととしております。

福岡県の将来を大胆に見据えた意見・提言等を行っていくためにも、引き続き、研究会において活発な議論を行ってまいりたいと考えております。